



2016MFJ全日本ロードレース選手権シリーズ最終戦

エヴァRT初号機 TRICK STAR

参戦報告書

予選 途中棄権 決勝出走せず

■ゼッケン/エントリー名	#22 / エヴァRT初号機 TRICK STAR
■監督	鶴田 竜二
■ライダー	出口 修
■開催日/サーキット	11月4(土)～11月5日(日) / 三重県鈴鹿サーキット
■マシン	2016 Kawasaki NinjaZX-10R
■結果	予選 棄権 決勝 出走せず

予選 途中棄権

ドライコンディションで行われた。今回の鈴鹿最終戦に向けチームとして新たな試みをマシンに施して臨んだ。

予選開始時間が始まり出口選手は少し間合いをとって集団からやや遅れてピットアウトしていった。1周目のストレートを出口選手は首を振りながら通過。

何かトラブルか？ ピットではメカニックが待ち構えていた。

出口選手がピットロードに帰ってきた。

マシンの挙動がおかしい事を伝えてきてピットクルーが色々手は尽くすも、今回新たなシステムのエラーで予選の時間中にはとても改修できる問題ではなかった。

そのまま走らせるか？それとも出走を断念するか？チームは選択を迫られた。

暗雲立ちこめる雰囲気漂う中、次の瞬間、監督の鶴田が苦渋の決断をした。

このまま走らせるとライダーの身に危険が生じる可能性があるかと判断しマシンをピットに戻した。

チームは予選を走らせる事を断念した。

【ライダー 出口 修 コメント】

全日本最終戦鈴鹿は、マシンの不具合、また、ライダーを危険のリスクに晒せないとのチームの判断で出走なりませんでした。

現地まで応援に駆けつけて下さった皆さん、本当に申し訳ありませんでした。

全日本は全日程を終了しましたが、トリックスターレーシングの世界耐久挑戦は開幕したばかりです。チームの総力をあげてマシンのポテンシャルアップに努めております。

引き続き皆さんの応援 宜しくお願い致します。

【監督 鶴田竜二 コメント】

ボルドール24hを終え、耐久用のマシンとは仕様を変え鈴鹿最終戦に向け新しい試みを施し挑んだのですが、思う様に機能をせず今回はライダーの安全面を考慮し出場を取りやめる決断を致しました。こんな形で今年のJSB1000クラスのレースを終えてしまうのがとても悔しくて仕方ありません。

しかし、チームは勝つ為に常に進化し続けなければなりません。ですから今回のトライは決して無駄ではなかったと信じております。また今後必ず繋げ、さらに成長し続けて行こうと思っております。

私達を支えて頂いている各スポンサー様、ご関係者の皆様、いつも温かい声援を頂いているファンの皆様には大変申し訳なく思っております。今後はこのような事が無い様に取り組んで参ります。

全日本に出場する回数は少なくなってしまいましたが、また来年も皆さんの前でしっかり良いレースが出来るよう明日から準備をはじめて行きます。

1年間本当にありがとうございました。